

環境 しょうばら

次世代へつなぐ 庄原の里山環境

No. 8

発行日	令和 6 年 10 月 4 日
発行元	環境建設部環境政策課
TEL	0824-72-1398
FAX	0824-72-5517
mail	kankyo- seisaku@city.shobara.lg.jp

ごみ分別の Q&A

Q. 布団はどこに持っていけば処理してもらえますか？

A. 布団は粗大ごみとなります。庄原市リサイクルプラザ又は東城クリーンセンターに持ち込んでください。（重量で処理料金を頂きます。）

注意：燃えるごみでは、収集しません。ごみステーションへ出さないでください。

古着類の分別にご協力をお願いします

「再利用（リユース）・リサイクルの推進」と「燃えるごみの減量化」のため、市では平成 29 年 4 月から古着の回収をしています。収集された古着類は、再利用または手袋やクッション材などにリサイクルされます。

① 古着類の対象になるか確認しましょう

古着類					燃えるごみ	粗大ごみ
●スーツ ●ジャケット ●ジャンパー ●コート ●セーター	●Tシャツ ●ポロシャツ ●ワイシャツ ●トレーナー ●スラックス	●ジーンズ ●スカート ●ワンピース ●下着類 ●子供服	●着物 ●シーツ ●タオル ●くつ下 ●カーテン	●ハンカチ ●ネクタイ ●マフラー ●手ぬぐい など…	●ストッキング ●中に綿が入っている （ダウンジャケット ・はんでんなど） ●靴類	●掛・敷布団 ●毛布などの寝具 ●こたつ用布団 ●マットレス

② どんな状態か判別しましょう

古着類

- ・再利用できる状態のきれいなもの
- ・洗濯し、たたんである
- ・名前の刺繍等も気にならない



燃えるごみ

- ・目に見える汚れや破損部分がある
- ・再利用されることに抵抗がある
- ・ペット用に使っていた



③ 青色の指定袋に入れてください

※古着と燃えるごみは同じ指定袋を使用しますが、古着類としてリサイクルする場合は、古着類のみを指定袋へ入れてください。

④ 決められた収集日にゴミステーションに出してください

収集日当日の 8 時までに、決められた集積場所に出してください。

【収集日】月 1 回 ※曜日は地域によって異なります。

- 指定袋は同じですが、「古着類」と「燃えるごみ」は別々の袋に入れてください。
- ボタン・ファスナーなどは取らないで出してください。
- 汚れているものは、可能な限り金具を取り除いて「燃えるごみ」として出してください。

ごみ分別辞典 QR コード



古着を直接持ち込みするときは

庄原市リサイクルプラザ又は東城クリーンセンターに庄原市の指定袋（青色）に入れて持ち込んでください。無料でお引き受けします。

■ 庄原市リサイクルプラザ 〒727-0003 庄原市是松町 20 番地 25 ☎ (0824) 72-1398
■ 東城クリーンセンター 〒729-5122 庄原市東城町久代 6671-2 ☎ (08477) 2-0214



10月 は、食品ロス削減月間



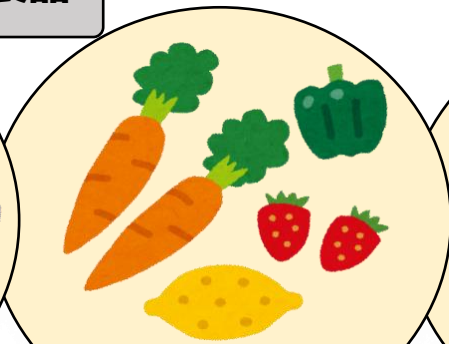
～ 10月30日 食品ロス削減の日 ～

食品ロスは、食品メーカーやスーパーマーケットで発生していると思いがちですが、食品ロス量の半分は家庭から発生しています。消費者庁が行った食品ロスに関する調査の結果は次のとおりです。

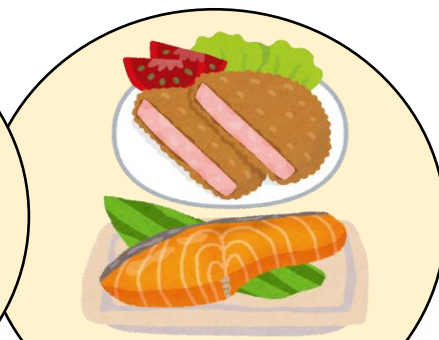
家庭で捨てられやすい食品



1位 主食（ごはん、パン、麺類）

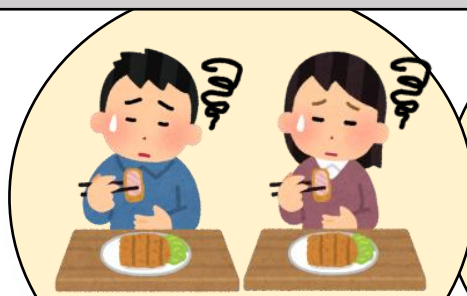


2位 野菜



3位 おかず

捨ててしまう理由



1位 食べきれなかった



2位 傷ませてしまった



3位 賞味期限・消費期限が切れた

家庭からの食品ロスの要因は、①料理を作りすぎたりして残る「食べ残し」、②野菜の皮や茎など食べられるところまで切って捨ててしまう「過剰除去」、③未開封のまま食べずに捨ててしまう「直接廃棄」です。少し意識したり、工夫したりするだけで、食品ロスを減らすことができます。家庭で食品ロスを減らすコツは、買い物時は「必要な分だけ買う」、料理の際は「食べきれる量を作る」、食事の際は「おいしく食べきる」ことが基本です。

みんなで、食材を無駄なく使って、おいしく食べきろう！

～消費者庁 食品ロス削減ガイドブック（令和6年度版）より

環境標語（令和5年度環境標語コンクール）

しょうみきげん ちかいものから 手にとろう

庄原小学校4年 佐竹 礼優

